

認知科学概論 課題 2

学籍番号 200911434

名前 青木大祐

2013 年 4 月 26 日

Norman による「ヒューマンエラーの分類」の3項目（スリップ、ラプス、ミステーク）のそれぞれに該当する例を、身近な道具・機器・システムを使用中に経験したもののから各々1個あげて説明せよ。

- 対象，使用状況，問題・失敗の流れを説明せよ。
- 各分類に該当する理由を説明せよ。
- 授業（他の授業も）にて取り上げたものは対象外。
- 先の宿題にて自身で報告したものでもよい。

スリップ

MacOSにおいて、ブラウザなどのタブを閉じる `command+W` とアプリケーションを終了する `command+Q` を押し間違え、アプリケーションごと全てのタブが閉じられてしまった。これは QWERTY 配列のキーボードにおいて Q と W が隣に配置されているために発生したミスであり、行為段階での実行の誤りであるといえる。

ラプス

操作中のコンピュータを遠隔で操作しているのを忘れており、ネットワークインターフェースの設定中に `ifdown` を実行してしまい、それ以上の遠隔操作が不可能になってしまった。これは遠隔操作中であるという短期的な記憶が蒸発していたためだといえる。

ミステーク

洗濯機の操作で、初めて予約を行おうとした際に「時間予約 ⇒ 開始」を押すものだと思っていたが、実際は「時間予約」だけでよかった。開始を押すと予約がキャンセルされ、即座に洗濯が実行されてしまう。これは行為の意図が誤っていたため、想定していた結果とは違う状態になってしまったと言える。